

# 令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人協谷学園 静岡南幼稚園 園長 青島範明

## 1 幼稚園の教育目標

- ① 体が丈夫で、明るく元気な子
- ② みんなと一緒に、生き生きと遊ぶ子
- ③ 心豊かで感動する子

## 2 本年度の重点目標(学校評価の具体的な目標や計画)

ゆとりある保育を目指し展開していく

- ・ねらいをはっきり持って保育をし、保育内容の向上をはかる
- ・一人ひとりの子どもを理解し、その子にあった関わり援助をする

## 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

※評価結果の表示方法

A	十分に成果があった
B	成果があった
C	少し成果があった
D	成果がなかった

評価対象	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価委員会結果	
		評価	幼稚園の取組・反省と改善策	評価	評価・意見
教育課程・指導方法	園で目指す教育方針を理解し教育を進める。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス禍の中、安全管理を行いながら、行事や活動を実施してきた。なるべく中止にするのではなく、実施内容や方法を検討し、時間短縮等をし、計画実施した。子ども達の体験や経験を減少せず、実施できた。</li> <li>・今年度も一人ひとりとの関わりを丁寧にし、生き生きとした自分らしさを身に付けられるようにした。個性が発揮できる場を設けたり、子どもの育ちを考え、日々の教育活動が充実するよう取り組んだ。</li> <li>・スイミングや英語あそび・あそびっこ等を日常の教育活動に導入していることで、保護者もそう</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策をしながら行事や活動を行うことは大変だと思うが、子ども達が安全に園生活を送れるよう、引き続き対応をお願いしたい。</li> <li>・教職員が園の教育が目指す「キラキラの個性、大発見」を念頭に置き、子どもの個性を尊重し見守り、寄り添いながら教育活動を行っている所が評価に値する。</li> <li>・子ども達が喜んで登園し「幼稚園が楽しい」と言っている子が多い。先生方が園目標を目指し頑張っていることがわかった。</li> </ul>

			<p>した点が魅力と感じ、入園を希望する方が増えた。園としても、更なる教育活動の充実と、時代が求める教育活動を積極的に展開し、本園の特色としてアピールしていきたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ではなかなかできない体験や経験を取り入れていく事は、幼稚園のアピールにも繋がると思う。保護者のニーズにできる限り答えていくことも大事である。</li> </ul>
健康・安全	<p>安全教育と安全点検を実施する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の避難訓練、担当者による安全点検を適切かつ定期的実施した。園庭の遊具だけでなく、施設設備の老朽化が進行しているため、対応策を計画した。例えば、回転遊具が破損していたり、塗装が剥げてきていたため入れ換えをおこなったり、幼稚園の門扉が破損していたため、修繕工事を行い新しくするなど、迅速に修理及び差し替えを行った。</li> <li>・来訪者には、正門ではインターホンを必ず押してもらい、顔を確認してから入ってもらうようにしている。またその際、鍵の開け閉めも忘れずをお願いしている。</li> <li>・最近是不審者の情報も聞かれるので対応についても、教職員の連携を考えていきたい。</li> <li>・子ども達の安全確保のため、防犯カメラを7か所設置している。</li> <li>・園外活動、遠足等、園外へ出ることも多いので事前に目的地や道のり等の下見をし、安全の確認をしてきた。又、登降園の際も交通ルールを守り、子供達自身にも確認させ、身につくようにしてきた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が安心確保のために、遊具や園舎内の安全点検を定期的をお願いしたい。</li> <li>・門扉を新しくしただけでなく、最近是不審者について色々な情報を聞くので、保護者にも正門の施錠をしっかりと行うよう伝えていくことが大切である。</li> <li>・園外保育、遠足などの行事はとても良い経験になると思うが、子供達の安全確認は言う迄もないが引率する教員も十分に注意されたい。</li> </ul>

<p>子育て支援</p>	<p>子育て支援の活動に積極的に取り組む。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 預かり保育時間は朝 7 : 30 ~ 8 : 30、保育終了後は基本 14 : 15 ~ 18 : 00。今年度は、なるべく預かり保育を実施し、保護者の方に安心して子供を預けていただけるよう取り組んだ。また早朝の預かり保育を利用される方も増えた。</li> <li>・ 今年度は、園見学会 4 回と体験入園 1 回を計画し実施した。未就園児の保護者の方々に園の魅力や良さを知っていただき、多くの方に参加していただいたが、なかなか継続して来てもらうことは、難しく苦戦した。もっと園の広報の仕方を検討する必要があった。</li> <li>・ 親子で楽しく体を動かしたり、友達と遊ぶ楽しさも体験できるよう、今年度は「親子体操」7 回「親子ふれあい子育て広場」6 回を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防の為、回数を減らした。</li> <li>・ 教員の数が減少したため、今年度も「りんごちゃんルーム」、新たに未就園児の一時預かり保育「ちびっこくじゃく」や満 2 歳児対象とした「いちごちゃん等は実施しなかった。来年度は職員を整え、対象児の年齢を下げても実施できるように準備していきたい。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 預かり保育が充実していることは、保護者からは重視される点である。働いている保護者も多いので、預かり保育の実施は評価したい。</li> <li>・ 未就園児と保護者には幼稚園に何回も足を運んでもらい、園の教育方針、雰囲気などの良さを知ってもらうことで、少しでも多くの園児の確保につながるよう頑張ってもらいたい。加えて、園児数が増えるよう様々な方にも協力してもらうことを検討してみよう。</li> <li>・ 未就園児の対象児の年齢を下げたり、満 3 歳児を受け入れていくことは、園児数の増加につながる。様々な方法で進め、取り組んでいってほしい。</li> </ul>
<p>特別支援</p>	<p>支援が必要な子、気になる子への対応をすると共に、特</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期的な見通しをもって、子供自身が自らの良さを出せるよう関わってきた。</li> <li>・ 各学年で支援が必要な</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家に来てもらうこと</li> </ul>

	別支援計画をたて実行する。	B	<p>子、気になる子が増加傾向にある。そのため、私立幼稚園協会の巡回訪問カウンセリングに申し込み、外部から専門家に来てもらい、気になる子の姿を見てもらった。また保護者にも来園してもらい、一緒に指導や対応の仕方を学んできた。一方、教職員は個々の園児に対して、丁寧に関わりを持ち、その子らしさを大切にし、自信が持てるように援助してきた。担任だけでなく級外もサポートしてきたが、個々に合わせた教育活動を展開していくことは難しかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングの講師、パッソやハッピーテラス等の療育施設、保健センター等と日常的に子どもの姿の情報交換を行い、保護者も含め協力して対応してきた。</li> <li>・発達障害児の個別指導計画書の作成をしたり、その子にあった指導を心掛けるように配慮した。また保護者と情報を交換し連携をとっている。</li> </ul>	A	<p>で問題点を改善したり、情報交換をし、学ぶことが出来るので、引き続き実施して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡南幼稚園は教職員が子どもを丁寧にしっかりと見て対応してくれるから安心」ということを聞いているので、その子の個性や特性を大事にし、伸び伸びと楽しく園生活を送れるよう補助や対応を引き続き努力してほしい。</li> <li>・情報交換は、重要な事である。子どもが安心して就学できるよう、早めに小学校との連携を密にし、一人ひとりの子どもの特性に応じて支援について相談し合えるような体制づくりを進めて欲しい。</li> </ul>
教育環境	楽しんで取り組める環境作りの工夫をする。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達は様々なことに興味関心を示し、楽しんで活動や遊びを行っている。日々の教育活動においても、子ども達の持つ発想やアイデアを生かした活動をするよう意識した。</li> <li>・日々の保育を振り返り、教育の質が高められるよう、教師一人ひとりが意識してきた。教材研究や環境設定を見直し、ゆと</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師自身が幼児教育に対して意識して取り組むことは、とても大事なことである。幼稚園が目指す目標に向かって教育の質が高められるよう頑張ってもらいたい。</li> </ul>

			りを持って環境作りをしていきたい。		
地域交流	地域諸団体や地域住民との交流・連携を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行われている中田本町「いきいき会」、デイサービススマイル、社会福祉法人葵寮等との交流活動については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。現状では、なかなか交流が難しいが状況を見ながら、今後も交流を行っていきたい。</li> <li>・アプリメイクやラジカルラボの依頼を受け、両社のCMに園長、教職員、年長児の代表の子が出演した。静岡放送、静岡第一テレビ、テレビ静岡で放送された。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状で、交流は難しいと思われる。しかし、様々な方法で幼稚園を知ってもらうことはよいと思う。外部の方との関わりは子ども達にとっても刺激になり、良い経験、体験になるので、今後も参加したり、交流の場を設けてほしい。</li> <li>・今回は園長や職員の方も出演されていて、良かった。面白く親しみがもてるCMだった。色々な方がCMを見てくれることを期待したい。</li> </ul>
情報提供	園の情報に関する発信を積極的に行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も幼稚園案内、ホームページ、インスタグラム、フェイスブックなどの写真の記載について、保護者の承諾を得て実施しているが個人情報問題もあり制限される現状がある。</li> <li>・コロナ禍で感染症対策のため、保護者の方に子どもの姿を直接見ていただく機会が減ってしまったが、園のお知らせや毎月の園だより、学年だよりを作成し、定期的の園の様子や情報を提供してきた。また今年度は行事や活動等、子供達の生き生きとした姿や楽しんでいる様子を、インスタグラムやフェイスブックにあげ、幼稚園案内やホームページも活用して伝えることができた。引き続き、保護者との連携を大切にしていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で保護者の行事や活動等の参加が減ったり、人数が制限されているので、幼稚園の情報を沢山配信してほしい。</li> </ul>

